



行動面でのメリット

不妊・去勢手術をした動物は、一般に、落ち着いたおだやかな性格になります。特にオスでは、ほかのオスや人に対する攻撃やなわばりのにおいつけが少なくなり、飼いやすくなります。

テメリット

不妊・去勢手術をすると、必要なカロリーが少なくなります。手術前と同じ食餌量・運動量だと太ってしまうので、適切な量に管理することが必要です。

いつ、手術したらいいのでしょうか

繁殖させる予定がないのであれば、最初の発情の前（性成熟の前）に不妊・去勢手術を行えば、一生涯、繁殖に関するストレスから解放し、安定した生活をおくらせることができます。何才でも手術は可能です。

安易な繁殖の先には・・・

かわいい動物の子どもを見てみたいというのは自然な感情です。しかし、健康な子どもを誕生させ、生まれた子どもすべてに責任をもつのは簡単ではありません。

飼っている動物を無制限に繁殖させるのは、決して「自然な状態」などではなく、過密な環境や不十分な世話で、動物を苦しめることにつながります。

また、純血種の中には、遺伝病が発現しやすく、繁殖には系統や健康状態を慎重に見極めなくてはならないものも多くあります。生まれながらに病気の苦しみを背負う動物をわざわざ作りださないのも、人の責任ではないでしょうか。

生まれてしまってから、こんなはずじゃなかったとあわてても遅いのです。

動物は自分で繁殖をコントロールすることはできません。

彼らの幸せのために実行できるのは、飼い主のあなただけなのです。

